

DH Selection

自慢の職場紹介します！

vol.18

医療法人社団 わく歯科医院(兵庫県丹波市)

当院が位置する兵庫県丹波市は過疎地域ですが、いわゆる“歯科医院の激戦区”(人口67,000人に対し34軒の歯科医院)で、当院の半径150mにはほかに3軒もの歯科医院があります。当院には床矯正の子どもから義歯の高齢者まで幅広い年齢層の患者さんが来院されます。もともと院長の専門は口腔外科であり、インプラントも含めた包括的全額治療も多いのですが、現在は予防中心の医院として日々、診療に取り組んでいます。



▲スタッフ集合写真



◀受付・待合室

ゆったり過ごしてもらえるように、開放的な空間になっています。対面式の受付では、患者さんとの会話がはずみます



◀▼メインテナス室
窓から明るい日の光が差し込むメインテナス室。担当患者さんと落ち着いた空間で向き合えるような個室となっています



◀キッズルーム

待合室からも中の様子が確認できます。月に一度、託児スタッフが診療中の患者さんの子どもをお預かりしています



▶玄関

展示された患者さんの作品が医院を彩っています



他院とはココが違う！
当院のDH自慢ポイント

Point1 自然との共生

丹波の自然に囲まれた医院。テラスは空が天井の待合室となっています



Point2 新人教育

治療のすべてにマニュアルがあり、統一された施術を目指しています。規格化された口腔内写真の撮影が新人の最初の仕事です



▲餅つきや花見などで大活躍！



▲手術室

安全と清潔を考慮した院長こだわりの手術室です。身長の高い院長が立位で施術できるようにしています



▶収納

診療棚のケースを統一し、見た目もよく、何がどこにあるかすぐにわかるような収納を心がけ、5Sを徹底しています





▲サポーター制度

当院では患者さんを交えての勉強会と交流会を年に一度行っています。私たちだけでは見過ごしてしまうことや、思いつかない意見をいただきます。秋にはサポーター患者さんの畑で黒豆狩りも!



※写真は患者さんの許諾を得て掲載しています



▲ビジュアルマックス

患者さんの口腔内写真を用いた説明を可能にするだけでなく、怖がりな子どもも笑顔にするお絵かきツールとしても活用しています



▲戦略会議

ブレインストーミングにて医院の問題を抽出し、改善していくための計画を話し合います



▲それぞれの年代での職場体験

「地方での人材確保は地道な種まきから」という院長の考えのもと、小・中学生には職場体験、高校生にはインターンシップと進路ガイダンスを行っています



▲職場体験の様子

院長から歯科衛生士へエール!

和久 雅彦 (歯科医師)

「バイオフィルムを取る歯科衛生士が患者さんを救う！　日本の医療を救う！」。これは私が地元の高校の進路ガイダンスで必ず伝える言葉です。その話を聴いて歯科衛生士学校に進学した方が、京阪神地域、さらにはこの丹波市に帰ってきてもらえば、これほど嬉しいことはありません。当院でも歯科衛生士が活躍できる環境を整えるため、機能的で魅力的な医院を皆で設計、新築し、現在でも院内のしくみをつねに変革しています。歯科衛生士は口腔衛生の計画まで立案できるプロフェッショナルな職業です。自分が目の前の患者さんの健康を守り、その先の高騰する医療費の削減を担えるという高い志を忘れず、これからもお互い精進しつづけましょう！



医院を代表して、歯科衛生士からのメッセージ！

谷垣 順美 (歯科衛生士)



歯科衛生士とは知識や技術の向上はもちろん、患者さんの笑顔や志の高い仲間と触れ合うことで人間力も向上できる、とても奥深い職業です。私は歯科助手を経験し、諸先輩の患者さんと向き合う姿勢に憧れ、「私もいつか患者さんに信頼される歯科衛生士になりたい」という想いを抱き、歯科衛生士学校へ進学しました。そして当院へ再就職をして早10年が経とうとしています。いまでは「患者さんに信頼される、安全で質の高い医療」を提供できるように、週1回の全体カンファレンス、個々のスキルアップトレーニング、医院のプロジェクトの推進などに取り組んでいます。仲間とともに“医院の心・技・体”的向上を目指し努力しています！